

Seto Inland Sea Folk History Museum

あの人が、
れきみにやってくる。

瀬戸内海歴史民俗資料館
企画展「瀬戸内海、ぷかぷか目玉の路上観察」
オープニングイベント・記念講演会

オープニング記念講演会

面白いこと収集/分類家 林丈二の実践

僕がやっていることは、
結局すべて自分のためなんですネ。
なぜ、こんな面白いことを
見逃しているだろうという、
要するに落穂拾いを
やっているだけなんですヨ。
落穂拾いが面白いという、
そういう感覚なんです。

講師紹介： 林 丈二 氏 HAYASHI Jyoji

1947年、東京都生まれ。イラストレーター、エッセイスト、明治文化研究家。武蔵野美術大学を卒業後、サンリオに入社し1977年からフリー。各地を旅してマンホールのふたの写真を集めた『マンホールのふた〈日本篇〉』（1984）、『マンホールのふた〈ヨーロッパ篇〉』（1986）が話題となる。前書の書評を藤森照信氏に依頼したことが路上観察学会の創設のきっかけとなった。ほかに、明治時代の新聞記事を収集・分類し紹介したものなど多くの著書がある。

2026. **9/19** (土) 13:30-16:00

瀬戸内海歴史民俗資料館

(高松市亀水町 1412-2)

マンホールのふた、靴底にはさまった小石、切符のパンチ屑、自身の放屁——。林氏が長年見出してきたのは、すべて私たちの足元にありながら見過ごされてきた、当たり前前の日常に潜む面白さでした。そうした「物件」を見つけ、集め、分類する独自の営みは、1986年に発足した路上観察学会誕生の契機ともなり、赤瀬川原平、藤森照信らから「路上観察の神様」と称される存在となりました。

本講演では、林氏がこれまで収集・分類してきた数々の「物件」を通して、その観察の楽しさや、世界の見方について語っていただきます。さらに、本邦初公開！「路上観察合宿 in 香川, again」として、林氏の目玉が新たに捉えた香川の物件もご紹介いただきます。

何かの役に立つ話ではないかもしれないけど、帰り道には、いつもの街が少し違って見えるに違いない。あなたも、「れきみん」で、ちょっぴり「ムダ」で、とびきり面白い時間を過ごしてみませんか。

日程： 13:30～14:20 オープニングイベント
主催者挨拶・展示解説など（展示室内）

14:30～16:00 記念講演会
林丈二氏による講演会（研修室）

定員： 40名（先着順、要事前申込）

申込： 電話、「香川県電子申請・届出システム」
でお申し込みください。

*インターネットからのお申し込みは、瀬戸内海歴史民俗資料館ホームページ
右下の関連リンクから「香川県電子申請・届出システムのページへ」をクリック
してください。

問合せ： 瀬戸内海歴史民俗資料館（連絡先は下記）

瀬戸内海歴史民俗資料館
Seto Inland Sea Folk History Museum

〒761-8001 高松市亀水町1412-2
TEL 087-881-4707 FAX 087-881-4784
<https://www.pref.kagawa.lg.jp/kmuseum/setorekishi/>

